

奈良県北部のバス問題の経緯(特に生駒市を中心に)

下線は本会の活動

- 2021.8:奈良交通より**奈良市**に対しバス路線運行協議の申し入れ(対象路線は後掲)
特に歌姫線・六条赤膚線については2022.2までに結論を出すことが求められる
(その後協議期間は延長) 奈良市では**15路線**が協議対象
- 2022.3.23:奈良交通より**生駒市**に対し**5路線**の運行協議の申し入れ(対象路線は後掲)
- 2022.4.25:奈良交通が生駒市に対し一部区間の廃止といった具体的な路線再編案を提示
- 2022.5.13:奈良交通決算発表。初の経常利益2期連続赤字。
- 2022.6.19:**平城団地**で奈良市・奈良交通による住民説明会開催
- 2022.8.1:**歌姫線**で日中減便と**土日を全休**とするダイヤ変更実施
- 2022.8 中旬:生駒市で沿線自治会役員向けに路線再編案の説明会(一般住民には知らされず)
- 2022.9.27:生駒市地域公共交通活性化協議会開催。6月にも協議会は開催されていたが路線再編案はここで初めて報告。市の対応と利用者アンケートの実施が報告了承。
- 2022.10.1~:**利用者アンケートが協議対象沿線自治会に属する住民に対してのみ実施され**、これにより再編案が初めて一般住民の知るところとなる
結果(回答数 3998・回収率 54.7%)と住民個別意見は生駒市 HP に掲載
- 2022.10.12:市の依頼した廃止区間(生駒駅一東生駒駅・稲倉―あすか野団地)を維持した場合の費用につき奈良交通が回答←アンケート後の市民の声の高まりを受けあすか野地区で乗車促進ポスター掲出開始
- 2022.10.25:奈良先端科学技術大学院大を含む高山地区立地施設等連絡協議会から生駒市に対し高の原高山線廃止再編反対の申し入れ【沿線団体初の再編反対の意見表明】
- 2022.11.21:生駒市に対しあすか野自治会が現状運行継続の要望提出【生駒市自治会による初の路線維持の意見表明】
- 2022.11.22:生駒市長メッセージ 一部廃止区間につき「一定数維持」の方向で検討する
- 2022.11.23:阪口県議があすか野自治会館でバス問題報告会・多数の住民が出席
- 2022.12.5~:上記市長メッセージを受け、あすか野自治会が現状便数の維持と生駒駅までの運行継続を生駒市・奈良交通のそれぞれに対して要望
- 2022.12.15:生駒市地域公共交通活性化協議会で、**再編案の撤回**、今後1年をめどに収支均衡に向けた検討を行なうこと、あすか野自治会提案の3者協議の採用を表明(これに先立ち12.7に、市が奈良交通に8千万円支援することと引き換えに**協議期間を2023年度末までと1年延長**することが両者の間で約される)
- 2023.1.21:生駒市北コミュニティセンターで初めての市説明会(市民**231人**参加)
市民の意見(162件)に対する回答は市 HP に掲載
- 2023.2.15:生駒市第1回3者協議 以後7回開催
- 2023.2 下旬:あすか野自治会が**利用促進策提案**を生駒市と奈良交通のそれぞれに提出

3月には継続的財政支援制度導入の提言を副市長に対し提出

2023.5:現本会メンバー含むあすか野住民により、生駒市議会のほぼ全会派と多くの無所属議員に対し、議会委員会の本年度の調査テーマにバス問題を取り上げるよう陳情

2023.5.13:奈良市地域公共交通会議で協議が整ったことを受け平城団地線の路線再編実施

2023.6:生駒市で約2千万円の奈良交通に対する支援が補正予算で措置され、協議期間が2024年度末までに再延長

2023.6.28:市長メッセージで、この期間内に収支改善できない場合には減便がありうるということが初めて明言される

2023.6:生駒市議会経済建設委員会が今年度のテーマ別調査に公共交通問題を採択

2023.7:生駒の公共交通を守る会立ち上げ(月末には自治会サークルとしての「あすか野バス利用者の会」も設立)

2023.7.19:生駒市で、特にバス問題を協議するための分科会を協議会に設置

2023.8.3-5:生駒市でバス100円デー実施(次回は11月3-5日)

2023.8.27:前年11月以来の地域でのバス問題報告会・学習会(本会主催)

2023.8.31:生駒市協議会の下に設置された分科会の初会合・全会一致で会議非公開を決定

2023.9.13:本会バス問題ニュース配信開始(以後約3週に1回配信)

2023.10.1:奈良県地域交通改善協議会で協議が整ったことを受け郡山若草台線が路線短縮(廃止区間は他路線で代替)、高の原高山線も路線再編

2023.10.11:本会による宇陀市公共交通政策視察

2023.10.21:本会ツイッター運用開始

2023.10.25:本会立ち上げの記者発表(奈良県政・経済記者クラブ)

2023.10.26:本会記者発表報道を受けて生駒市長がメッセージを発表

2023.11.28:生駒市に対し①路線バス再編問題の解決のための実効的な施策の実施②奈良交通に対する継続的支援制度の創設③地域公共交通活性化協議会分科会の公開をそれぞれ求める要望書を提出

2023.12.2:地域での第2回バス問題報告会・学習会

2023.12.23:「第1回公共交通問題シンポジウム in 生駒」開催

奈良市協議対象15路線

奈良笠置線	奈良柳生線	奈良月ヶ瀬線	東山線	赤膚六条線	歌姫線
済生会奈良病院線	四条大路線	八条町線	あやめ池線	<u>郡山若草台線</u>	
<u>平城団地線</u>	<u>学園緑ヶ丘線</u>	<u>高の原高山線</u>	<u>富雄庄田線</u>	(最後の2路線は生駒市と重複)	

生駒市協議対象5路線

<u>生駒ニュータウン線</u>	<u>ひかりが丘線</u>	北田原線	<u>富雄庄田線</u>	<u>高の原高山線</u>
------------------	---------------	------	--------------	---------------

下線:国または奈良市(奈良市内完結路線のみ)による補助対象路線

太字:利用者の多いニュータウン路線 斜字:協議完了が明らかな路線

※地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会の意味

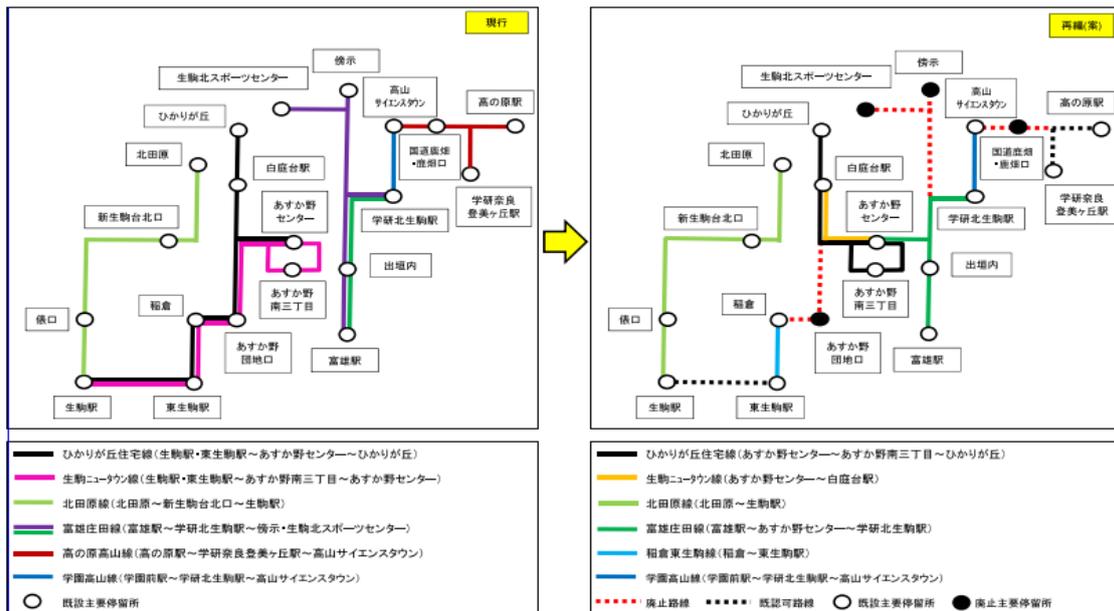
これらで協議が整った場合には路線休廃止の審査が弾力化される

参照:左 HP の 3 頁(岐阜県地域公共交通協議会資料)

市を跨る路線は県協議会の協議対象でもある



生駒市路線再編案概略図(点線が廃止区間)



生駒市協議会令和4年第2回資料より